



お互い助け合う「感謝」の気持ちと「諫早市社会福祉協議会」の意味を込めて名付けました。末永く皆さまに愛される広報紙を目指しています。



清掃ボランティア



障害者施設でのボランティア



ブルタブ収集ボランティア



学習支援ボランティア

あなたもボランティアに参加して、新しい自分を見つけてみませんか。ボランティアは、小さな喜びや達成感、交友関係の広がりなど、心を豊かにしてくれます。みんながともに支え合い、助け合うことは、住み良いまちづくりにもつながります。相手だけでなく、自分自身も幸せになる効果があるボランティア。今月号は、ボランティアの魅力を紹介します。

お知らせ あなたの「かんしゃ」募集します

社協広報紙「かんしゃ」の表題の文字とイラストをお寄せください！

■応募方法：右のQRコードから様式をダウンロードしていただき、ご記入の上、社協へ郵送ください。採用された方にはクオカード 500円分をプレゼントいたします。

今月のイラストは 加藤 結奈さん(7才)、文字は 染川 愛一郎さん(8才)に書いていただきました。ありがとうございます。



ボランティアが 育む相乗効果

ボランティア参加者 × ボランティア受け入れ団体
あなたも、できることからやってみませんか。
ボランティア参加者、ボランティア受け入れ側の声をお届けします。



ボランティア参加者の声



諫早高等学校附属中学校
3年 中川内 美悠さん(左)
長崎日本大学中学校
3年 清水 優伊さん(右)



NPO 法人
ターミナル
学習室



インタビュー活動の様子

中川内さんは小学生の頃に、学習支援を行う NPO 法人ターミナル学習室のボランティアの方に勉強を教わりました。その経験から誰かの役に立ちたいとの思いが強くなり、中学生になってからターミナル学習室の小学生に勉強を教えています。また、FM 諫早で配信している同法人のラジオ番組「道しるべ」、「こんにちは」で、学習支援、国際交流の啓発を行うナレーターやインタビュアーとして活躍しています。

中川内さんは、「学習ボランティア活動を通して、相手にわかりやすく伝えることの難しさを感じることがあります。しかし、相手が理解できたときの喜びは大きい！その達成感が活動力の源になっています」と、はじける笑顔で話してくれました。中川内さんは、ボランティアの魅力を知ってもらいたいと友人の清水さんをボランティアに誘い、現在、ラジオのインタビュアーを二人で担当しています。引っ込み思案なところがあった清水さんは、ボランティア活動を通して、交友関係が広がったそうです。

二人は、「ボランティア活動を通して色々な方と出会い、価値観や世界観が広がった。新しい自分に出会う、きっかけになった」と話してくれました。

ボランティアを受け入れた側の声



居宅生活支援センターケイ.コム
本部長 立川 淳二さん(右)
生活支援員 陣野 亜希子さん(左)



居宅生活
支援センター
ケイ.コム

居宅生活支援センターケイ.コムは、障害を理解してもらい、地域に開かれた施設にとの思いから、ボランティアの受け入れを積極的に行っています。障害者への接し方がわからなかった学生が、ボランティア活動を通して、障害は特別なことではないことを知り、障害の理解につながっています。また、利用者の方と一緒に活動することで、共に楽しみ、笑い、互いの距離が縮まります。ボランティアにやりがいを感じ、「また、ボランティアに来てもいいですか?」と話す学生やボランティア体験がきっかけとなり、医療や福祉の専門職を目指す学生もおり、ボランティアを受け入れる喜びの一つとなっています。

ボランティアの効果は、受け入れる側にもあります。「ボランティアを受け入れることで、職員の専門職としての意識が高まり、職員が学びを深めることにもつながっている」と立川さんは話します。また、利用者の方は、普段接することのない様々な年代のボランティアとの交流が楽しみとなっているそうです。

陣野さんは、「ボランティアに参加してもらい、福祉の魅力や、やりがいを感じてもらいたい」と思いを伝えてくださいました。



ボランティアとの交流

今年の夏🍉は、ボランティアをしよう! ～サマーボランティアキャンペーン2023～

どんな
プログラム
があるの?

- ◆ 高齢者施設や障害者施設、こども園などでの利用者とのふれあい
- ◆ 子ども食堂やフードバンク、認知症カフェ等のお手伝いなど

諫早市内25プログラム!

申込み
方法は?

下のQRコードから仮申込みが可能です。その後、社会福祉協議会の窓口にて、本申込みとなります。



【問い合わせ先】
諫早市社会福祉協議会
☎0957-24-5100

誰でも参加OK! (内容によっては年齢制限あり)
多くの方のご参加をお待ちしています。

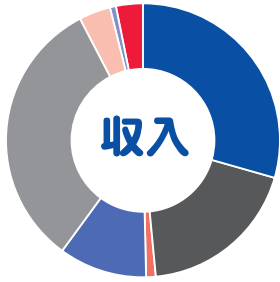
あなたのしあわせは?

「じゅっとこーすたーにのれたことがうれしい♡」
加藤 結奈 さん (7才)

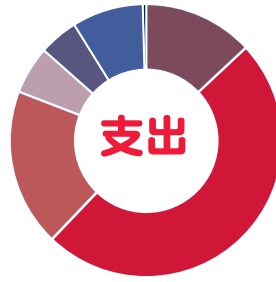
みなさまのあたたかいご協力に感謝いたします。

令和4年度決算・事業報告

収入額
238,533,469円



支出額
244,738,317円



令和4年度事業計画に基づき、皆様にご協力いただいた社協会費・寄付金、諫早市他からの補助金・受託金、赤い羽根共同募金からの配分金を財源に、住民同士の支え合い、福祉教育の推進、ボランティアの育成などに努めました。詳細は、ホームページをご覧ください。



福祉体験学習



ふれあいいきいきサロン



自分の暮す
まちを元気に
しませんか？

市社協会員加入のお願い

社協会費(年会費・1口) 普通会員：100円 賛助会員：1,000円
特別会員：5,000円

諫早市社会福祉協議会 理事・監事・評議員を紹介します！

(令和5年6月16日現在)

理事 (11名)	【会長】寺井 雄一 【副会長】井手 洋一郎 平古場 敏則 【常務理事】城下 和美 荒木 正人 今里 良二 小川 政吉 小野由利子 古賀 文朗 古賀 淳一郎 松藤 久傳
監事(2名)	川口 秀隆 橋本 正和
評議員 (20名)	池 永 悟 市丸 憲二 内川 十代一 江嶋 美代子 大塚 梓 草野 敏 島田 美知子 上島 撫一 田崎 富子 田島 正孝 立野 政美 田平 輝政 徳永 秋男 野中 秀文 林田 直記 平山 百合子 古川 利光 平間 美代子 堀口 春記 前田 伸子

一緒に働く仲間を募集します！

○受験資格

- (次の(1)～(3)全ての要件に該当する人)
- (1) 昭和54年4月2日以降に生まれた人で、学校教育法による大学(短期大学を除く)若しくはこれと同等と認める大学校等を卒業した人
 - (2) 社会福祉士資格を有する人、または社会福祉法人や公的機関(国や地方公共団体)等の正規職員として福祉サービス職務経験が5年程度ある人
 - (3) 普通自動車運転免許を有する人

○受付期間

令和5年8月1日(火)～令和5年9月11日(月)まで
郵送の場合は、9月11日の消印まで

○第一次試験

試験日：令和5年10月22日(日)
会場：諫早市社会福祉会館
(諫早市新道町948番地)

○採用人数 若干名

○採用予定日 令和6年4月1日

○給与

初任給 166,700円(現行)
職歴に応じて一定の加算有

詳細はホームページもしくは
お問い合わせください。
(TEL 0957-24-5100)

あなたのしあわせは？

「親に育ててもらって、すごくかんしゃしています。」
染川 愛一郎 さん(8才)

※地区社協とは、おおむね小学校区を単位とし、地域やその住民が抱えている課題を発見し地域でその解決に向けて取り組んでいくための住民組織です。

地区社協情報便

第4回
森山地区社会福祉協議会

地域が共に支え合う
まちづくり

森山の初夏は、田植シーズン。田植えは、一斉に始まり、僅か数日で広大な早苗の平野に変わり、森山で一番きれいな季節だと言っている人もいます。田植が終わると田祈祷祭りがあり、秋の豊作を祈願して、地域の親睦を深めます。田植えは、森山の生活史の象徴でもあります。

地区社協では、こうした地域の暮らしに密着して、様々な活動に取り組んでいます。なかでも「防滅災まちあるき事業」は、平成19年から実施している事業で、その目的は災害に強いまちづくりを推進し、住民同士のつながりを育むことにあります。このまちあるき事業は、住民自らが地域を歩き、身近な危険箇所や防災資源を確認して防災マップに落とし込む活動を行っています。

また、12箇所のサロンは、集落単位でのサロンが多く、多くの方々が楽しみながら活動しています。今年度は、「コロナ禍で自粛していたことがあった活動に、再び笑顔が戻ってきました。他にも、ひとり暮らし高齢者を対象に「森山産新米コシヒカリ」の配付、12月には「森山のもち」の配付、3月には「手作り弁当」を配付しています。民生・児童委員がひとり一人に声をかけしながら届けており、多くの方々喜んでいただいています。

諫早市社会福祉協議会だより **かんしゃ**

- 執筆
森山地区社会福祉協議会
会長 山口 公德
- 令和5年度取り組む事業
- ・地域福祉セミナー
 - ・無料介護相談会
 - ・出前介護相談会
 - ・防滅災研修会
 - ・防滅災まちあるき事業
 - ・世代間交流事業
 - ・ひとり暮らし高齢者
新米配付、もち配付、
食事サービス
 - ・地区社協だよりの発行
(年4回)

この他、金婚ご夫婦に対して地区社協から表彰し、記念品を贈呈しています。前年度は16組のご夫婦を表彰しました。当地区社協は、年4回「地区社協だよりの」として四季の地区社協の行事や福祉関係の地域トピックスを広報部会で企画して全世帯に届けています。地域密着の取組みとして、今年度の地区社協総会では、「イノシシの生態を知って農作物被害を防ごう」をテーマに記念講演を実施。社協がイノシシ対策を取りあげたことで関心が高まりました。

これからも混住化が進む中、自治会や民生委員・児童委員協議会、老人クラブ、サロンとの連携を図りつつ地域福祉の向上に取り組んでまいります。



田植えを待つ森山の家並み



防滅災まちあるき事業

ご寄付ありがとうございました

次の皆さまから、心温まるご寄付をいただきました。
ご厚志に沿うよう地域福祉事業のため大切に使用させていただきます。

令和5年6月1日～令和5年6月30日受付分

- 香典返し
- ▶ 田中 寿史様(長与町)【亡父 秀穂様】
 - ▶ 谷川 正喜様(小野町)【亡妻 八重様】
 - ▶ 川谷 三夫様(川内町)【亡母 光代様】



Follow me



8月のふれあい福祉相談

日常生活における様々な心配ごと・悩みごとなど、何でもおたずねください。

一般相談	開設日	月曜日～金曜日(祝祭日を除く)
	開設時間	午前10時～午後3時
	場所	ふれあい福祉相談センター (諫早市社会福祉会館内) 【専用電話】23-7022

財産、権利擁護など、法律上の悩みごとなどを
おたずねください。

無料専門相談	開設日	8月25日(金) 弁護士
	開設時間	午後1時30分～4時
	場所	諫早市社会福祉協議会 【電話】24-5100

※専門相談は、10日前までに予約をお願いします。

編集
発行

社会福祉法人 諫早市社会福祉協議会

〒854-0045 諫早市新道町948番地

TEL0957-24-5100 FAX0957-24-5101

ホームページ <http://isahaya-shakyo.jp>

(諫早市社会福祉協議会で検索ください)

諫早市社会福祉協議会だより「かんしゃ」では、広報誌に関するご意見、地域で行われる福祉活動や行事の情報を皆様から募集しています。